1-①. 重点分野リサーチ (11重点分野×31国・都市) 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ~ソウル(1/9)

■目次 ~ソウル~

- 1.基本調査
 - ①基礎情報
 - ②デジタルに関する組織及び施策等の概要
- 2.重点調査分野(11テーマ)

4	4 ==	上八	、田マロ	144	ー・	下ジロ
1	1里	点分	「半ヤ」	ויו —	- – 7	犬況
_	-=	ハハノノ		_		/ \// U

サービスデザイン/UIUX	0	デジタルデバイド	*	共同利用·共同調達	-
データ利活用	*	官民共創	ı	デジタル予算	ı
行政サービスのデジタル化	0	新技術 (AI、メタバース)	*	スマートシティ	*
サイバーセキュリティ	0	人材育成•確保	-		

★・・・・都が特にベンチマークすべき事例あり、〇・・・情報あり、

ー・・・情報なし

1-①基礎情報

都市名

ソウル特別市

面積 (k㎡)

人口 (万人)

949

GDP (10億米ドル) 605

主要産業

国民文化

元首

東京からの直行便あり、時差なし

参考

ソウル特別市基本情報(KOSIS)

市長 呉世勲(オ・セフン)

1-①. 重点分野リサーチ (11重点分野×31国・都市) 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ~ソウル(2/9)

1 - ②デジタルに関する組織及び施策等の概要

		 名称	概要	拠点	ソース・サイト
*	組織	ソウル特別市 デジタル政策課	革新的な最先端スマート都市行政サービスや技術を網羅した体験型「スマートソウル展示館」をソウル市庁地下1階に開館。メタバースにも参画。	ソウル	・ <u>公式ホームページ</u> ・ <u>メタバース事例</u>
*	組織	ソウル特別市 ビッグデータ課	公共情報を市民と共有し、民間企業の多様なビジネス機会創出とIT産業の発展を図るため、ソウルオープンデータプラザ(data.seoul.go.kr)を開設。	ソウル	• <u>公式ホームページ</u> • <u>活用事例</u>
*	組織	ソウルデジタル財団	ソウル特別市の出捐金を得て、2016年に設立したデジタル政策のシンクタンク。スマートシティに関するリサーチやコンサルティング業務、ソウルスマートシティの運営などを行う。	ソウル	• <u>公式ホームページ</u>

1-①. 重点分野リサーチ (11重点分野×31国・都市) 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ~ソウル(3/9)

2.重点調査分野(11テーマ) ーサービスデザイン / UI・UX

Plan & Strategy

事例

概要

ソウル特別市が掲げる「Digital2020」の中で、「市民がサービスを想像し、ソウル政府がそれを提供」「デジタル体験の収集、融合、開発」が宣言されている。

提化 デシ

-市民がサービスを想像し、ソウル政府がそれを 提供

デジタルサービスの開発は、市民のニーズから出発し、わかりやすく、使いやすいサービスでなければならない。

-デジタル体験の収集、融合、開発

行政は収集した知識に基づいてデジタル政策を 立て、実行し、政策結果を蓄積して、さらに政策 を改善する。

取組 概要 ^{養手中含を}

- ロボットアシスタントサービス: ソウル市庁舎を実験場として、書類の配送や訪問者の案内などの業務を支援するロボットアシスタント「ロボマネージャー」を展開。
- 電動ロボバスサービス: 自律型公共交通の普及を目的としたこの電動ロボバスは、先進の自律走行技術を搭載した未来的なデザインで、市民目線で考えられた交通公共サービスを体験することができる。乗客は専用スマートフォンアプリ「TAP!」を使って無料でバスに乗車可能。

参考

要点

• Digital2020(ソウル特別市)

参考

- ロボットアシスタントサービスについて(ソウル特別市)
- "citizen-oriented"交通システム(ソウル特別市)
- 電動ロボバスサービス(ソウル特別市)
- ケーススタディ一覧(ソウル特別市)

1-①. 重点分野リサーチ (11重点分野×31国・都市) 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ~ソウル(4/9)

2.重点調査分野(11テーマ) ーデータ利活用

Plan & Strategy

事例

概要

2012年に、オープンデータ活用の方針を定めた「オープンガバメント2.0」を発表。

要点

同方針では、機密情報や個人情報を除くすべてのデータを、自治体のデジタルプラットフォームで自由かつオープンに共有することが求められている。

取組 概要 ^{※着手中含t} • ソウルオープンデータプラザ:公共データを公開し、オープンなコミュニケーションを図ることで、公共性、業務効率性、透明性を高め、市民の自発的な参加により新しいサービスと公共価値を創造するプラットフォーム。研究、管理、サービス提供など、様々な行政活動の過程で収集された環境、交通、人口などのデータセットを保存、共有、更新している。

参考

 ソウル特別市のデジタル化に関する調査 (Centre for Liveable Cities Singapore)

参考

• ソウルオープンデータプラザ公式ホームページ

1-①. 重点分野リサーチ (11重点分野×31国・都市) 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ~ソウル(5/9)

2.重点調査分野(11テーマ) 一行政サービスのデジタル化

Plan & Strategy

事例

概要

行政サービスのデジタル化に関する方針・戦略を 含む「スマートシティ・デジタル化マスタープラン」を 制定。

要点

- 同プランは下記3つの戦略分野とそれぞれに紐づく9つのタスクから成る。
- デジタルトランスフォーメーション
- ▶ ソーシャルインクルージョン
- > 安全と利便性
- デジタルトランスフォーメーションに係るタスクとして、デジタル行政の革新が明記。

取組 概要 ^{※着手中含を} • mVoting(モバイル投票アプリ): 都市問題の解決に向けて政策 実行プロセスにおいて、市民の意見を簡単かつ迅速に収集するために 作られたモバイル投票システム。ブロックチェーン技術の応用により投票 情報の偽造・改ざんを完全に防止し、自治体機関や市民が信頼して 利用できる投票サービスとなっている。標語、市民賞の選定や政策、 イベントに関する意見収集に活用されている。また、行政の活動に対 する投票のみならず、市民自らが調査を作成し投票を募ることも可能。

参考

• スマートシティ・デジタル化マスタープラン(ソウル特別市)

参考

• スマートシティ・デジタル化マスタープラン(ソウル特別市)

1-①. 重点分野リサーチ (11重点分野×31国・都市) 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ~ソウル(6/9)

2.重点調査分野(11テーマ) ーサイバーセキュリティ

Plan & Strategy 事例

概要

「スマートシティ・デジタル化マスタープラン」の中でサイバーセキュリティについて規定。

要点

 国際的なスマートシティとして将来のDXをけん 引するというビジョンを掲げた「スマートシティ・デ ジタル化マスタープラン」には9つのタスクが挙げら れており、その一つに「安全なサイバー都市の創 造」が明記。

取組 概要 ^{議手中含を} • **AIを活用したセキュリティコントロールシステム**: 巧妙化・大規模化するサイバー攻撃に先制的に対応するため、ソウルのサイバーセキュリティ環境に適したAI基盤のセキュリティ制御システムを構築。機械学習を基に検出したサイバー攻撃を分類し、攻撃が起こる確率を予測することが可能。

参考

• スマートシティについて(ソウル特別市)

参考

• スマートシティについて(ソウル特別市)

1-①. 重点分野リサーチ (11重点分野×31国・都市) 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ~ソウル(7/9)

2.重点調査分野(11テーマ) ーデジタルデバイド

Plan & Strategy

事例

概要

• 「2022デジタル能力強化プラン」で全ての市 民がデジタルで繋がる社会の実現を方針として 掲げている。

• デジタル化の加速によるデジタルギャップの拡大 を踏まえ、デジタルインクルージョンを実現するた めの「2022デジタル能力強化プラン」を策定。

要点

プランには下記4つの戦略が定められている。

- ・ 対話型教育による能力向上
- ・ 個人に併せた教育コンテンツ拡充
- 地域に根差した教育環境構築
- ・ 教育と雇用の循環実現

取組 概要 ^{《着手中含む}

- デジタル学習センター:障害学習センターや図書館等で123のデジタル学習センターを運営。市民向けにカスタマイズされた無料のデジタル教育提供やスマートデバイス等のレンタルを実施。
- ・ 高齢者向けのデジタル教育:55歳以上の高齢者向けに、スマートフォンの設定、カカオトークの使い方等の基礎教育を実施。実施方法は「能力診断→対話型教育(マンツーマン)→ロボットによる反復教育→きめ細かいカウンセリング」と高齢者に優しいものを採用。2021年には8,323人に対して本取組が行われた。
- LiKU(教育用ロボット): 高齢者がデジタル機器に親しみ、さまざまなスマートサービスを利用する能力を高めることを目的に開発された教育用ロボット。

参考

• デジタルインクルージョンについて(ソウル特別市)

参考

• デジタルインクルージョンについて(ソウル特別市)

1-①. 重点分野リサーチ (11重点分野×31国・都市) 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ~ソウル(8/9)

2.重点調査分野(11テーマ) -新技術(AI・メタバース等)

Plan & Strategy

事例

概要

自治体初のメタバースプラットフォーム活用を掲げた「メタバースソウル基本計画」を策定。また 2022~2026年の5か年で約39億ウォンを投資する計画を発表。

「メタバースソウル基本計画」では下記が重点分野として定められている。

経済:産業エコシステムの育成

教育:双方向の実感型学習支援

・ 文化・観光:バーチャルコンテンツと文化体験

・ コミュニケーション:総合市民相談室の開設

・ 都市づくり:都市管理機能と利便性の向上

・ 仮想行政:市長室、企業支援施設等の開設

・ インフラ:安定的なインフラ環境構築

メタバースの他にもAI、ブロックチェーン等の新技術への投資計画も発表されている。

参考

要点

• メタバースソウル基本計画(ソウル特別市)

 ソウルにおけるメタバース・AI開発について (国際電気通信連合)

取組 概要 ^{※着手中含®}

- メタバースソウル: ソウル市が開発する独自のメタバースプラットフォーム。2022年末までに開発を完了し、2026 年までに完全運用を開始予定。 完成後は、バーチャル市長室をはじめ、企業向けスペース、フィンテックインキュベーター、公共投資機関など、行政の全領域(経済、文化、観光、教育、苦情など)で様々な公共機能を提供する予定。
- スマート防犯カメラ: AIを活用し防犯カメラの映像を解析する取組を実施。違法駐車や指名手配中の車両の追跡にナンバープレート自動認識システムを活用。
- ・ ソウルウォレット: ソウル市民全員が便利で安全に利用できるブロックチェーン基盤の非接触型公共サービスアプリ。 ソウルウォレットを通じて自己認証のためのデジタルIDが発行され、オーダーメードのデジタル行政サービスを受けることが可能。

参考

- メタバースソウル基本計画(ソウル特別市)
- ソウルにおけるメタバース・AI開発について(国際電気通信連合)

1-①. 重点分野リサーチ (11重点分野×31国・都市) 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ~ソウル(9/9)

2.重点調査分野(11テーマ) ースマートシティ

Plan & Strategy

事例

概要

スマートシティに関する方針・戦略を含む「スマート シティ・デジタル化マスタープラン」(2021~ 2025年)を制定。

同プランは下記**3つの戦略分野**とそれぞれに紐づく9つのタスクから成る。

①デジタルトランスフォーメーション

- ・スマートシティインフラの拡大
- ・デジタル行政改革
- オープンビックデータシティの創出

②ソーシャルインクルージョン

- ・デジタルサービスの拡大
- ・包括的スマートシティの形成
- ・安全なサイバーシティの構築

③安全かつ利便な都市サービスの提供

- ・スマートモビリティインフラの構築
- ・安全・安心な都市サーバ椅子
- ・デジタル経済の活性化

取組 概要 ^{※着手中含む} スマートシティプラットフォーム:リアルタイムの都市状況(災害情報、 交通状況、大気環境等)や行政情報を一覧できるプラットフォーム。 ソウル市内の防犯カメラの映像情報、行政窓口への苦情など、300 以上のシステムからデータを収集している。都市の状況をリアルタイム で把握することで、政策の方向付けにも活用。

参考

ソウルスマートシティプラットフォーム白書(ソウル特別市)

要点

参考

• スマートシティ・デジタル化マスタープラン(ソウル特別市)